

オーストラリア

(情報提供：オーストラリア大使館商務部)

世界でもっとも住みやすい国のひとつとして知られるオーストラリア。生活および教育の質が世界トップレベルであることから、多くの生徒・学生に留学先として選ばれています。オーストラリアの大学の9割以上が、世界の大学ランキングにランクインしており、うち7大学は安定してトップ100位以内に選ばれています。国内在住者の約半数は海外生まれ、または両親のいずれかが海外で生まれている群を抜いた国際的な環境が、みなさんをあたたくお迎えします。小・中・高校、大学、高等専門教育機関（VET/TAFE）、英語学校などの教育機関で学ぶことができます。学生ビザを持つ留学生はアルバイトも可能なことから、勉強以外の経験を積むことができるのも魅力です。



©Tourism Australia

修業年限・学期

学士号：通常3年 修士号：通常2年 博士号：通常3年～（専攻による）そのほかCertificate、Diploma、Advanced Diploma、Graduate Certificate、Graduate Diplomaなどの資格もあり、修業期間は数か月から数年。これらの学位・資格は大学および高等専門教育機関（VET/TAFE）で取得可能。多くの大学がセメスター（2期）制だが、一部ターム（3期）制を導入しているところもある。通常、大学の新学期は2月末、小・中・高校・高等専門教育機関は1月末～2月上旬開始。

入学条件・出願・選考

大学・高等専門教育機関への出願には在籍教育機関での成績証明および英語能力試験のスコアを提出する。出願は各教育機関に直接行う。出願日程や提出書類等は各機関のウェブサイトを確認。入学要件を満たしていない場合でも、英語学校やファウンデーションコース（大学進学準備コース）などさまざまなパスウェイが用意されている。教育機関からの入学許可証（Confirmation of Enrolment/CoE）取得後、学生ビザ申請が可能となる。

語学力の目安

大学・高等専門教育機関の場合IELTS 6.0～、英語学校の場合は一般英語コースであれば英語力は問われない。

留学にかかる費用の目安・滞在先

学費は教育機関・専攻により異なるため、各機関のウェブサイトを参照のこと。生活費はオーストラリア政府公式ウェブサイトStudy Australiaの生活費計算ツールをご利用ください（<https://costofliving.studyaustralia.gov.au/>）。留学生の滞在先は学生寮、民間企業が運営するStudent Accommodation、シェアハウス、アパート、ホームステイが一般的です。昨今の住宅難で、特に都心部で滞在先を見つけるのが以前より難しくなっているため、早めに滞在先を探し始めることをおすすめします。

PICK UP!

オーストラリア大使館商務部や州政府では、留学に関するイベントやセミナーを随時開催しています。最新情報はインスタグラム（@studyauofficial_japan）をフォローしてください。オーストラリア政府公式ウェブサイトStudy Australiaでは、コース・教育機関・奨学金の検索ができます。

お役立ちリンク

オーストラリア政府
公式ウェブサイト
Study Australia
(日本語)



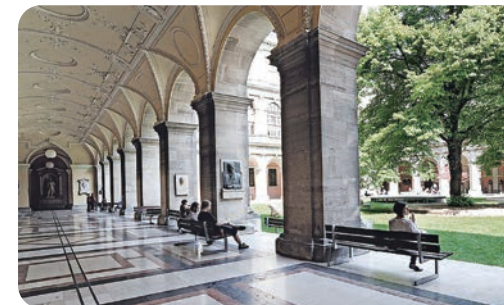
恵文社オーストラリア
留学ガイド
(ガイドブック無料配布中)



オーストリア

(情報提供：オーストリア大使館・オーストリア文化フォーラム東京)

ヨーロッパの中央に位置するオーストリアは、山や湖水に恵まれた美しい自然と、歴史と文化を誇る美しい都市が特徴です。豊かな文化的環境の中から、今日も、高名な科学者、ノーベル賞受賞者、芸術家を多数輩出しています。治安もよく、日本の学生に人気の留学先です。日本の大学とパートナー協定を結んでいる大学も多数あります。近年では、自然科学分野で留学する人、英語で学ぶ前提で留学する人も増えています。



©Barbara Maier

修業年限・学期

学士号：最短180ECTS単位、修士号：最短120ECTS単位、学士号：最短3年
10月1日から翌年9月30日までが1学年、冬学期は10月1日から1月30日まで、夏学期は3月1日から9月30日まで。

入学条件・出願・選考

希望の大学の入学許可、学業に十分な語学力、在留許可が必要。
詳細は希望の大学に確認のこと。

語学力の目安

大学や専攻によるが、ヨーロッパ共通参照枠で最低B2以上

留学にかかる費用の目安・滞在先

学費：一般の大学の場合、オーストリア人以外の学生はセメスターごとに約728ユーロの学費を支払う。私立大学や応用大学ではそれぞれに異なるので各大学の情報を参照のこと。
1か月の生活費の目安は1,200ユーロ程度（家賃450ユーロ、食費350ユーロ、教材費など400ユーロ）だが、都市や住環境などにより異なる。

PICK UP!

日本にはオーストリア留学相談の窓口はありません。Study in Austriaのサイトから問い合わせるか、希望の大学がある場合には直接連絡をとることになります。

お役立ちリンク

留学情報全般



奨学金
データベース



留学プログラムの
データベース



ベルギー王国(フランス語圏)

(情報提供：Wallonie-Bruxelles International)

ベルギーは、3つの言語共同体と3つの地域により構成される連邦国家で、オランダ語、フランス語およびドイツ語の3つの公用語があります。生活環境は良好で、優れた医療制度と効率的な公共交通網はその一例です。

欧州の中心に位置するベルギーフランス語圏には、5つの大学、19の高等専門学校および16の芸術学校の合計40の最高水準の高等教育機関があります。毎年22万人以上の学生が学び、そのうち20%以上が留学生です。提供される教育課程の多様性、豊かな文化、活発な研究と技術革新が留学先としての当圏域の魅力です。

修業年限・学期

学士号：180欧州単位互換制度（ECTS）単位—修業年限3年、修士号：120ECTS単位—最終学年の課題を含む2年間の修業、上級修士号：60ECTS単位
1学期：9月～1月 2学期：2月～6月 夏休みと追試験期間：7月～9月

入学条件・出願・選考

学部課程：希望する学年に入学可能な卒業証書（特定の進路（土木工学、医学、歯学、獣医学、言語療法、理学療法、リハビリテーション）では選考あり）

修士課程：希望する専攻分野と同等または類似した分野の学士号

上級修士課程：修士号

博士課程：以下の条件すべて

1. 5年間の学業（300ECTS単位）を経て取得した修士号
2. 学業を修了するために十分な経済力（資金計画の提出）
3. 学位論文の指導教員および受入機関の研究室によって認められた、過去の学業で十分な成績
4. 学位論文の提案書と指導教員からの同意書

留学にかかる費用の目安・滞在先

授業料：2,505ユーロ（学部課程及び修士課程）

生活費：最低でも月1,000ユーロから1,200ユーロ

多くの場合、大学寮が備えられています。一般的に台所、居間、浴室は共用です。

民間のアパートを個人でまたは他の学生と共同で借りることもできます。

ベルギーフランス語圏の高等教育機関に在籍し、有効な滞在許可証を持っている留学生は、在学中一定の基準内での就労が可能

PICK UP!

ベルギー王国フランス語共同体政府国際交流振興庁（WBI）は、外国人留学生を対象に各種の奨学金を給付しています。日本での特定の課程を持つ修士課程、上級修士課程、博士課程の学生を対象に、受け入れ（IN）および送り出し（OUT）の移動のための様々な奨学金を提供しています。その他、各教育機関が独自の奨学金制度を備えています。フランス語圏の高等教育機関はすべて、欧州域外を含む国際的な学生移動のための「エラスムス+（ERASMUS+）プログラム」に加盟しています。



語学力の目安

講義で使用する言語（フランス語または英語）の B2 または C1 レベル。一部課程は英語で履修可能。
受入教育機関から、標準化された評価方法（英語の場合は TOEFL と TOEIC、フランス語の場合は DELF と DALF）によって認定された必要な語学レベルの証明を求められることもあります。

お役立ちリンク

ワロン・ブリュッセル・キャンパス
(WBCampus)

WBI 東京事務所



ブルネイ・ダルサラーム

(情報提供：ブルネイ・ダルサラーム大使館)

国土の70%が手つかずの熱帯雨林に覆われ、豊かな文化遺産が脈々と受け継がれ、守られてきたブルネイは“平和の郷”として知られています。マレー・イスラム王政（MIB）を国の基本理念とし、高水準の教育と医療が国民に保証されているブルネイは、大きな自然災害もなく、衛生意識が高く、治安も良いため、留学生が安心して学べる環境といえます。公用語はマレー語ですが、国内では英語が広く使われ、大学の授業は英語で行われます。

留学生を受け入れている主な公立大学例

●ブルネイダルサラーム大学（UBD：Universiti Brunei Darussalam）

ブルネイ・ダルサラーム大学（UBD）は、2025/2026年アカデミック・セッションのための幅広い学部および大学院プログラムを提供しています。プログラムの詳細 <https://www.ubd.edu.bn/>

(修業年限・学期)

学士：修業年限は、デジタルサイエンス（応用人工知能）プログラム（全日制6学期）を除き、全日制8学期（4年間）

修士：プログラムにより全日制で12ヶ月、または全日制で18ヶ月となる。研究による修士号は全日制で24ヶ月となる。

(語学力の目安)

GCE 'O'レベル試験における英語のグレードC6、IGCSE英語（第二言語として）のグレードB、IELTSスコア6.0、TOEFL総合スコア550点以上、UBD英語能力テストB2のいずれかの条件を満たしていること

●ブルネイ工科大学（UTB：Universiti Teknologi Brunei）

工学・技術系の国立大学で、工学、ビジネス、コンピューティング、応用科学と数学、デザインといったニッチな分野に特化しています。詳しくは<https://www.utb.edu.bn/>

(修業年限・学期)

学士：7月から翌年6月まで。学年度前期は7月中旬から11月。後期は1月から6月。

大学院（研究による修士号取得および博士号取得）の学年度：

8月入学の場合：毎年3月31日までに願書を提出。結果発表は6月

1月入学の場合：毎年8月31日までに願書を提出。結果発表は10月

大学院（コースワークによる修士課程）の学年開始は7月。毎年3月31日までに提出。結果発表は6月。

(語学力の目安)

GCE O-LevelでグレードC以上、またはIELTS：Band 6.0、またはTOEFL550点以上。

●ブルネイ工科教育大学（IBTE：Institute of Brunei Technical Education）

IBTEでは、専門的かつ生産的に現代社会に貢献できる人材の育成に必要な指導を行います。グローバル化に対応するための知識と自信、そして最高の成果を発揮する能力を身につけ、業界で即戦力となって活躍する準備を整えることができます。

<https://ibte.edu.bn/>

(修業年限・学期)

ほとんどのプログラムは4学期制で、各学期は6ヶ月間。（3期は大学で学び、1期は企業で学ぶ）

(語学力の目安)

留学生の語学力に関しては、特定の条件はない。

PICK UP!

ブルネイ・ダルサラーム外務省では、ブルネイ・ダルサラーム国で学ぶ外国人留学生に対するブルネイ・ダルサラーム国政府奨学金を実施しています。指定された高等教育機関でディプロマ、学士課程、大学院修士課程の学位を取得する外国人留学生が対象となります。

お役立ちリンク

ブルネイ・ダルサラーム政府奨学金



カナダ

(情報提供：カナダ大使館)

カナダは、豊かな自然環境が広がり、四季折々の美しい景色を楽しめる一方、先進的な都市が発展しています。文化的にも多様性に富んでおり、留学先として非常に魅力的な国です。

様々なバックグラウンドを持つ人々が共存する多文化社会で、国際的な視野を広げるのに最適な場所です。また、英語・フランス語の2言語が公用語です。

さらに、カナダは教育水準が高く、OECD（経済協力開発機構）やPISA（学習到達度調査）でも、中高生の学力の高さは世界的に評価され、世界有数の大学や研究機関が多く存在します。質の高い教育と実践的な学びが融合した環境で、充実した経験を積むことができます。

また、カナダは生活費や授業料が比較的リーズナブルで、安全で住みやすい国の一つです。

修業年限・学期

州や準州、学校によって異なります。高等教育（大学・カレッジ）は、学士（大学、3年～4年間）、修士課程（1年～2年）、博士課程（3年～5年）、ディプロマ（2年）、サーティフィケート（1年）。初等・中等教育は日本と同様合計12年（ケベック州は11年）です。学年は通常9月スタートで翌年6月終わりです。

入学条件・出願・選考

学士：入学選考試験などはなく、高校での成績と英語力により可否が決まります。

修士、博士：前課程での成績と英語力により可否が決まります。研究テーマのレポートや推薦状などの提出も必要となる場合もあります。

中学・高校：日本での成績により可否が決まります。私立校は英語力テストやオンライン面接が必要な場合もあります。

留学にかかる費用の目安・滞在先

学費は教育機関によって異なります。

目安として、カレッジはC\$7,000～22,000／年、大学はC\$36,100（平均）。カナダ政府カナダ留学公式サイト（EduCanada.ca）からプログラムごとに概算を算出できます。また、大学生の生活費は\$15,000／年（平均）。大学・カレッジによっては留学生対象の奨学金があります。

公立中学・高校の学費は\$9,500～\$17,000／年（平均）、私立中学・高校は\$15,000～\$30,000／年（平均）、全寮制中学・高校は\$63,000～\$83,000／年（平均）。

PICK UP!

カナダでは英語・フランス語どちらも学ぶことができます。大学やカレッジのESL（Language as a Second Language）コースと私立の語学学校の、大きく2つに分かれます。就学・就労の経験を積めるIECワーキングホリデーも人気です。フルタイムの留学生はオンキャンパス、オフキャンパスでの就労も可能で、卒業後は最長3年就労可能なプログラムに応募することもできます。



語学力の目安

高等教育は大学・カレッジにより異なります。目安として、大学はTOEFL iBT 88～100、IELTS 6.5～7.0程度。カレッジはTOEFL iBT 71～80またはIELTS 6.0～6.5程度です。公立の中学・高校留学の場合、ESLコース受講などを条件に、英語要件は定めていない場合が多い。

お役立ちリンク

EduCanada



instagram



中華人民共和国

(情報提供：中華人民共和国駐在日大使館)

中国は悠久な歴史と広大な国土、多種多様な文化を持つ国。57の世界遺産を有し、全世界でトップクラスの数を誇る。中国での生活はノンストレスで毎日がとても新鮮で、外国人らは活気に満ち、とても便利な現代的な暮らしを楽しんでいる。治安も日本と大きくは異なりません。中国は世界最大規模となる教育システムを構築し、各級・各種学校が51万9千校あり、そこで2億7600万人の学生が学んでいて、教育制度では日本と同様に6・3・3・4制が採用されている。大学は国公立大学が多いが、私立も存在している。「大学」をはじめとした高等教育機関数は計3,117校、このうち普通高等教育機関が2,868校、成人高等教育機関が249校である（香港、マカオ、台湾の高等教育機関は含まれない）。今、中国は世界第2位の留学目的国、アジアトップの留学目的国となった。

修業年限・学期

本科（本科大学）：4年～5年。修了した後、学士号を取得する。専科（専科学校）：2～3年。職業技術学院：「医学高等専科学校」、「師範専科学校」など、日本でいう専門学校に相当する教育機関で、2～3年。大学院（修士課程、博士課程）については、修士課程は2～3年で、博士課程は3～4年である。秋入学の制度を持つ学校が多い。

入学条件・出願・選考

学士：高等学校卒業以上の者。修士：学士号以上の学位取得者。博士：修士号以上の学位取得者。普通進修生：高等学校卒業以上の者。高級進修生：修士号以上の学位取得者または准教授以上の教職に就く者。大学など高等教育機関へ出願は各教育機関でそれぞれ行うので、出願日程、提出書類等は志願学校のHPを確認すること。留学先大学が入学志願者の能力や大学の専攻で学ぶ適性があるかどうかを総合的に判定し、予科教育や語学補習の必要性を決定する。

語学力の目安

中国語プログラム：本科生、進修生（中国語専攻を除く）はHSK試験三級180点以上、修士又は博士はHSK試験四級180点以上。英語プログラム：「TOEFL iBT 80～」または「IELTS 6.0～」程度の英語力

留学にかかる費用の目安・滞在先

各大学・専攻により授業料・宿泊料などが異なるので、直接大学の関係部門との確認が必要。

授業料：30万～50万円程度／年、宿泊料：2万～8万円程度／年。留学生の多くは学校の用意する学生寮に住んでいる。一か月の生活費は都市によって異なるが、約3万～9万円。個人の都合で上記の留学にかかる費用の目安を超えるケースもある。

支援制度として中国政府奨学金、地方政府奨学金、孔子学院奨学金、大学による奨学金、その他財団等による奨学金給付制度がある。

お役立ちリンク

中国政府
奨学金サイト



Study in
China



Young Envoys
Scholarship



PICK UP!

入試要項、提出書類、締切日など予め確認しておくこと。

コロンビア

(情報提供：駐日コロンビア大使館)

太平洋と大西洋の2つの大洋に囲まれている世界で最も生物多様性に富んだ国の一つであるコロンビア。熱帯雨林やマングローブ、水の供給源となっているパラモ（高地草原）などの豊かな自然や活気ある文化と友好的な国民が、理想的な留学の環境を与えてくれます。

教育面では、コロンビア国立大学やロス・アンデス大学、ハベリアナ大学、ロサリオ大学、EAFIT、エクステルナド大学などの有名大学があり、これらの大学は、科学や工学、ビジネスや芸術そして医学の分野で質の高いプログラムを提供しており、スペイン語の他に英語で受けるオプションもあるため、留学生に最適です。

修業年限・学期

初等教育・中等教育：6～17歳（11年間）

高等教育（大学）：学士号の場合は通常4～5年

通常1月～6月と7月～12月の2学期制である。大学によって異なるが、基本的に前期の入学手続きは前年度の10月～12月頃、後期の場合は同年の5月～6月頃が多い。

入学条件・出願・選考

学士：高等学校を卒業しコロンビアの高等教育機関（大学）に学部生として留学する場合、コロンビアの中等教育修了証明"bachiller"と同様の資格（高校卒業証明書）を取得保有している必要がある。博士：学士課程レベルを修了し、該当する資格を取得していること。希望留学先により異なる申請要件を満たすこと。（大学院によっては専門資格の取得が求められたり、入学試験が課せられたりする）

語学力の目安

各プログラム/大学や募集条件によって異なるが、最長6か月のスペイン語上達の機会を提供するコースも存在する。コロンビアの大学院留学希望の場合は、事前にスペイン語コースを修了し、それを証明する修了証明書の提出が必要となる場合もある。

留学にかかる費用の目安・滞在先

学費は各大学及び専攻により授業料等が異なるので各大学の情報を参照のこと。目安としては1,500万コロンビアペソ程度～/学期

1か月の生活費は都市や生活水準によって異なるが、留学生の目安は250万～400万コロンビアペソ。

留学生の多くは大学が用意している寮や学生同士で民間アパートをシェアして住んでいるが、自身でアパートを借りて一人暮らしする生徒もいる。

奨学金制度があり、授業料や教材費、医療費の補助、月額支給や証明書の発行にかかる費用の支給などの金銭的援助がある。

PICK UP!

ICETEXは、コロンビアで専門課程、修士・博士・研究課程を希望する外国人学生を対象としたプログラム「Becas Colombia(コロンビア奨学金)」を毎年募集している。また、スペイン語を母語としない学生を対象に大学院留学前のスペイン語強化プログラムなども用意されている。期間は様々であり、専門科目：最長18か月、修士：最長24か月、博士：最長48か月。コロンビアの二重国籍でないこと、コロンビアに居住していないこと、過去の募集において同プログラムの受給者でないこと、専門職学位又は学士号を有していることを条件としている。募集は例年6月に締め切れ、同月末に結果が発表される。

お役立ちリンク

Becas Colombia
(コロンビア奨学金)



フィンランド

(情報提供：フィンランドセンター)

美しい自然、サウナ、ムーミン、北欧デザインや建築が人気のフィンランド。幸福度ランキング世界1位に連続して輝くほか、OECDの実施する学習到達度調査(PISA)で常に上位にランクするなど、世界トップレベルの生活・教育水準でも知られている。ハイテク機器の揃った図書館・教育施設や双方向で実践的な学びをすることのできる授業環境が魅力。留学生へのサポート体制も充実。フィンランドの高等教育機関には学術研究を深めるための「総合大学」と実務経験を重視する「応用科学大学」がある。フィンランドの公用語は、フィンランド語とスウェーデン語だが、学士課程のほか特に修士課程では英語による授業を行っている大学も多い。

修業年限・学期

総合大学では学士号から博士号までのプログラムがあり、学士号と修士号を取得するのに約5年かかる(学士号：180単位/3年、修士号：120単位/2年)。一方、応用科学大学では、学士号取得に210～270単位(約3.5～4.5年)、その後関連業界での実務経験、修士号取得に60～90単位(約1～1.5年)が必要となる。

入学条件・出願・選考

学士課程の場合、高校卒業程度かつ大学入学資格を取得した者で、入試(選考方法)は各大学・選考によって異なる。学士課程では、大学間の交換留学が一般的。また、修士課程の場合は学士号を取得した者が出願可能。主な留学の種類としては、「正規留学」、「協定留学(交換留学)」、「フリームーバー(ビジディング・スチューデント)」、「サマースクール」。高校生留学の場合は、各団体(AFS日本協会、ワイ・エフ・ユー日本国際交流団体、日本国際生活体験協会、ライオンズクラブ)の交換留学制度を利用する必要がある。

語学力の目安

英語で受講する学科の言語要件は、各大学コースにより異なるが、IELTS 6-6.5、TOEFL PBT 550-580、TOEFL iBT 72-92前後が必要。

留学にかかる費用の目安・滞在先

留学先大学・コース、留学形態、学位より異なるが、詳細は各大学へ問い合わせが必要。

以下は目安。

学費：年間5,000～18,000ユーロ

生活費：1ヶ月約700～1,200ユーロ(食費、宿泊費、旅費を含む)

家賃は都市やフラットによって異なる。例えば、HOAS(ヘルシンキ地区学生寮)では

シェアフラット 月270～430ユーロ

スタジオフラット 月390～825ユーロ

PICK UP!

奨学金は、フィンランドの大学が提供するさまざまな奨学金から、出願時に申請することができます。フィンランド国立教育庁は、主に博士課程の学生として大学や研究機関に留学する外国人学生を対象に奨学金を提供しています。3ヶ月以上の滞在にはビザが必要です。詳しくはフィンランド大使館にお問い合わせください。

お役立ちリンク

Study info



Study in Finland



フィンランドセンター



フランス共和国

(情報提供: Campus France - フランス政府留学局・日本支局)

フランスでの大学生活は、多文化で開放的な社会で「l'art de vivre (生活芸術)」という言葉が象徴するように、演劇、音楽、グルメ、旅行などを楽しむことができ、学生割引も充実しています。2021年には教育がGDPの6.8%以上を占め、教育と研究に多額の投資を行っています。このような政策により、世界で最も優れた高等教育システムのひとつである、フランスの大学やグランゼコールでは、過剰な授業料なしで質の高いプログラムを提供しています。そして、生活の中で国際言語であるフランス語が身に付きます。

修業年限・学期

学士 (Licence)=3年、修士 (Master)=2年、博士 (Doctorat)=3年
国立大学は9月に年度がスタートし、交換留学プログラムや語学留学を除き、途中の入学は不可。私立はその限りではない。

入学条件・出願・選考

国立大学への出願は、Etudes en Franceを通す。詳細はHPで要確認。
学士課程1年目 (DAP) :
高校の卒業証明書が高等教育への入学資格を許可する場合、その証明書
高校の卒業証明書が高等教育への入学資格を許可するものではない場合、
高校の卒業証明書と高等教育機関への入学資格を証明する書類 (大学入試
の合格通知) の両方
学士課程2、3年目、修士課程 (Hors DAP) :
希望する課程や学年、学問分野に対応した課程が既修であることの証明書。
私立教育機関やグランゼコールは直接教育機関へ出願する。

語学力の目安

DAP: DELF B2以上、または文章作成の補正試験つきTCF TP またはTCF SOのB2。
Hors DAP: 教育機関の指定する語学証明書。

留学にかかる費用の目安・滞在先

国立大学の年間登録料は、学士課程/2,850€、修士課程/3,879€、博士課程/391€。私立の教育機関はおおよそ年間3,000€から10,000€。1カ月の平均生活予算は地方で800€、パリで1,000€。文化施設や交通では様々な学生割引が充実しており、CROUS (地域学生生活センター) が運営する学生食堂では、3.30ユーロで、前菜・メイン・デザートのセットを食べることができる。家賃は国費奨学生が利用できるCROUSの寮は250~600€、民間学生寮はパリで600€~1,200€、地方で400€~600€。長期学生ビザ保持者は住宅補助 (APL) が申請でき、家賃の3割程度が還付される。

PICK UP!

Campus France - フランス政府留学局は海外にてフランスの高等教育機関への留学を推進する公的機関で、外国人の留学生や研究者のフランスでの受入れを支援しています。日本支局は、東京のメインオフィスと京都の関西オフィスで業務を行っており、予約制で対面・オンラインで個別留学相談にも応じています。
<https://www.japon.campusfrance.org/ja/consultations>

お役立ちリンク

Campus France
フランス政府留学局・
日本支局公式HP



アンスティチュ
・フランス



在日フランス
大使館



ドイツ

(情報提供: ドイツ学術交流会 (DAAD) 東京事務所)

ドイツは留学先としてとても人気があります。ドイツの大学は世界中で高い評価を得ており、その学位は国際的に認められています。英語で学べる課程も年々増えています。例外もありますが、国立大学の授業料は基本的に無料です。

400を超える大学はどれも同様に高いレベルの教育・研究を行っており、大きく総合大学 (学術・理論志向)、応用科学大学 (実践志向)、芸術・映画・音楽大学 (芸術系) の3種類に分けられます。

卒業を目指して留学することも、交換留学や語学研修の制度を利用して短期留学することもできます。個人で参加できるサマーコースも充実しています。

修業年限・学期

Bachelor (学士号) : 3~4年 (多くは3年)。Master (修士号) : 1~2年 (2年のところが多い)。
PhD (博士号) : 2~5年くらい (場合により異なる)。医師・薬剤師・法曹・教師の資格のための
Staatsexamen (国家試験) : 4~6.5年くらい (場合により異なる)。
冬学期(9月/10月)入学が多く、夏学期 (3月/4月)入学のところは少数。

入学条件・出願・選考

大学で学ぶ基本資格として Higher Education Entrance Qualification が求められます (www.daad.jp/ja/study-in-germany/admission-requirements/)。出願条件、時期、方法等は各大学の各課程により異なります。uni-assistを通じて出願するよう指示されている場合、大学の締切より8週間以上前に uni-assistに出願書類が到着しuni-assistの手数料が支払われていることが必要です。

語学力の目安

ドイツ語: TestDaF (TDN 4) 以上、DSH2以上。
Goethe-Zertifikat C2も認められる。英語: CEFRでB2~C1以上。これより低くても出願できる場合もあるため必ず個別に確認してください。

留学にかかる費用の目安・滞在先

90日を超えてドイツに滞在するには学生ビザ/滞在許可が必要です。その申請には1年あたり11,904ユーロ (1か月あたり992ユーロ) 以上の資金を準備できることを証明する必要があります。国立大学の授業料は基本的に無料ですが、例外もありますので各大学のウェブサイトを確認してください。授業料の有無にかかわらずsemester fee (学期共済費) は学生全員が支払います。大学生の生活費は平均で月に842ユーロですが、都市によっては1,000ユーロを超えることもあります。家賃支出は平均410ユーロで、学生の多くは学生寮、WG (シェアフラット)、民間アパートに住んでいます。学生寮も含め部屋は自分で探さねばなりません。交換留学生は優先的に学生寮に入れる場合もあります。

PICK UP!

留学希望者は各大学の International Office に相談することができます。学生寮を含め部屋探しは難航する場合がありますので早くから情報を集めておきましょう。日本国籍の方はドイツ入国にビザは必要ありませんが、90日を超えてドイツに滞在する場合は必要書類を準備して入国後速やかに現地の外国人入局で滞在許可を申請する必要があります。ビザについてはドイツ大使館・総領事館のサイト: <https://japan.diplo.de/> を参照。

お役立ちリンク

DAAD
東京事務所



DAAD
奨学金



X



Facebook



Instagram



©Kiyofumi Horita

アイスランド

(情報提供：駐日アイスランド大使館/Study in Iceland)

世界一平和な国、アイスランドで清涼な大自然に抱かれながら、北欧文学や神話、中世の歴史、革新的かつ最先端の自然科学、環境工学やコンピュータサイエンスといった理工学、エネルギー、海洋学、サステナビリティ、アートやデザイン、ジェンダーや国際・社会学を学びませんか？世界中から集まる留学生らとともに英語で学べます。学業に一息つきたいときは、温泉やオーロラ、むき出しの大自然でリフレッシュも。治安もよく安心して暮らせる環境が整っているアイスランド。世界に羽ばたく第一歩を踏み出すのを応援しています。

修業年限・学期

学士号：3～4年、修士号：1.5～2年、博士号：3～5年
入学時期は8月末（秋学期スタート）ですが、一部の大学やプログラムでは1月ごろ春学期スタートも。AFSを使った高校での留学もあります。

入学条件・出願・選考

毎年2月1日までに、2月8日までに、出願用紙以外の必要書類の提出（英語スコアなど）。交換留学生は4月1日まで。
学士：高等学校卒業証明書に発行機関による署名または捺印した封書を郵送依頼し、受理後留学先に未開封で提出。（日英両言語）
修士：上記同様。学士号での成績平均値が7.25であることが入学条件だが、コースによって変わる。

語学力の目安

学士/修士の最低スコア：
TOEFL iBT: 79 IELTS: 6.5
PTE Academic: 58
一部コースやプログラムによる最低基準スコアが違うため要注意。

留学にかかる費用の目安・滞在先

国立大学の場合、大学在籍費用：1年間75,000アイスランドクローナ（例：4年制の場合毎年支払い）
*1学期分（春のみ）では55,000アイスランドクローナ
私立大学（レイキャビク大学やビフロスト大学など）の場合は入学費用有。
教材費：実費
住居費用：1か月10万円～（シェアハウス）個別住居なら20万円～
*事前に調査必須。大学側からは提供されないケースが多い。
食費や生活費：5万～10万（基本自炊推奨。レストラン外食は3,000円弱～）
1か月約20万～を想定。在学中のアルバイト希望の場合は学生就業許可の取得必須。週22.5時間まで勤務可能。
アイスランド語学習者用奨学金有。

PICK UP!

アイスランドは他の国と違い、日本やアジア関連のもののアクセスが少ないです。留学先は地元民だけでなく多くの国外からの留学生もいます。エンターテインメントだけでなく、自然アクティビティが豊富なアイスランドでの学友との修学環境で、まさに「濃い」体験があなたを待っています。ですが留学情報や生活情報は少なく、いい意味でも自分で調べ、実践するという環境は、勉学以外の生活力や対人力を養える環境ともいえるでしょう。何か困ることがあればいつでも大使館にご連絡ください。

お役立ちリンク

Study in Iceland



アイスランド大学



政府奨学金



インド

(情報提供：インド大使館)

世界中から留学生が集まる教育ハブ。インドは留学生を世界中から集める教育ハブとして知られています。世界一の人口を誇り、インド国内の多種多様な文化と豊かな歴史は、学生にとって幅広い選択肢を提供しています。世界最古の文明と、経済、技術革新の最前線にいる急成長を同時に体験できるインドでの留学は、エンジニアリング、IT、哲学、インド文化など、幅広い分野で多くのメリットがあります。

修業年限・学期

学位（3年）
修士（2年）
博士（3年）
エンジニアリング、テクノロジー系（4年）
アーユルヴェーダ（5年6ヵ月）

入学条件・出願・選考

学生は希望するコースに合った大学を最大5校まで志願することができます。高校や大学での成績と、出願時に提出した小論文の内容をもとに、大学が選考を行います。出願方法は全てオンラインとなります。

語学力の目安

大学の講義についていける程度の英語力を有すること。入試選考は高校または大学のスコアに基づいて行われます。詳細はICCRウェブサイトをご覧ください。
<https://a2ascholarships.iccr.gov.in/>

留学にかかる費用の目安・滞在先

ICCR奨学金においては、すべての学費がカバーされています。ICCRからは、その他の経費を賄うための奨学金も支給されます。詳細はICCRウェブサイトをご覧ください。<https://a2ascholarships.iccr.gov.in/>

PICK UP!

3つの奨学金制度

1. アタル・ビハリ・ヴァジパイ一般奨学金
【専攻分野】芸術学、人文科学、科学、工学、経済学、国際関係学、ビジネス
2. ラタ・マンゲーシュカル舞踊・音楽奨学金
【専攻分野】インド舞踊、音楽、舞台芸術、演劇、美術、彫刻、インド料理
3. 伝統医学分野奨学金
【専攻分野】ホメオパシー医学、外科学、アーユルヴェーダ医学など

お役立ちリンク

The Indian Council for Cultural Relations (ICCR)



ICCR Japan X



ICCR X



ICCR Japan Facebook



アイルランド

(情報提供: Education in Ireland (アイルランド政府商務庁))

ヨーロッパに位置し、北海道と同じくらいの面積を持つアイルランドは、緑豊かな風景、温暖な気候、そしてとてもフレンドリーな人々で有名です。モハーの断崖や歴史あるダブリンなどの有名な観光地もあります。EU加盟国であるアイルランドでは、多様で豊かな多文化的な学習環境の中で、世界水準の教育を受けることができます。

魅力なところは、① 日本人学生はアイルランド留学にビザは必要ありません。② 英語が母国語。③ 就学しながら働くことが許可されています。④ 卒業後、就労目的でアイルランドに滞在することが可能です。

修業年限・学期

高等専門学校: 5～6年、専門学校: 1～2年、学士号: 3～4年、修士号: 1～2年、博士号: 3～4年。
アイルランドの学時暦は9月から5月まで。9月～12月、1月～5月の2学期に分かれています。留学生の主な入学時期は9月ですが、一部の大学では特定のプロダムについて1月または2月の入学を受け入れています。

入学条件・出願・選考

学士: 学校教育12年の課程を修了
修士: 大学卒業。16年の課程を修了
博士: 原則、修士号を取得

入学条件を満たさない留学生のために多くの大学では1年間の大学進学準備コースを提供しています。このコースでは、英語学習と、希望する専攻分野に関連した専門科目を組み合わせて学び、アイルランドでの大学課程に向けた準備をします。また、短期および長期コースを提供する英語学校もあります。出願は大学ホームページから直接行ってください。多くの大学では、9月入学のための出願締切が1月から4月の間となっています。

語学力の目安

大学進学準備コース:
IELTS 5.0/TOEFL iBT 50-70
大学: IELTS 6.0-6.5 /TOEFL iBT 78-90
大学院: IELTS 6.0-7.0/TOEFL iBT 88-100

留学にかかる費用の目安・滞在先

学費は学校やプログラムによって異なりますが、以下はおおよその目安です。

大学進学準備コース: 約160万円/年

大学・大学院: 約135万円～405万円/年

宿泊施設には、学生寮（キャンパス内およびキャンパス外）、民間アパート、シェアハウス、ホームステイなどがあります。生活費は居住地やライフスタイルによって異なりますが、年間平均は105万円～180万円です。アイルランド政府は、留学生向けにGovernment of Ireland International Scholarship Programmeなどの奨学金を提供しています。また、多くの大学が独自の奨学金を提供しています。

PICK UP!

キャリアの機会: アイルランドは多くのグローバル企業の本拠点です。テクノロジー、金融サービス、医療技術の各分野には、Google、Apple、トレンドマイクロ、オリックス、ソフトバンク、アステラス製薬、武田薬品工業などの企業が参入しており、卒業生に多くの就職機会を提供しています。

学びながら働く: 一定の条件を満たせば、留学生も就学中の就労が許可されます。これは、実務経験を積み、生活費を補い、新しい友人を作り、アイルランド文化を深く体験するのに最適な方法です。

お役立ちリンク

Education in Ireland



アイルランド政府商務庁



アイルランド留学ガイド



イタリア

(情報提供: イタリア文化会館)

イタリアは、教育の分野で長い歴史と伝統を誇る国です。1088年創設のボローニャ大学をはじめ、数百年の歴史を持つ大学がイタリア各地に約90校あり、その多くが国公立大学です。これらの大学は世界的に高い評価を受けています。教育の質が高いのはもちろん、教育の機会均等に基づいて、学費は比較的低く設定されています。

イタリアの大学ならではの最先端の分野も多く、また各大学が積極的に国際化を図っていることもあいまって、世界中から集まった教授陣や学生とともに国際的な環境で学ぶことができます。

英語のみで講義が行われる学位取得コースが多く、学士課程、修士課程など幅広いコースを英米圏の大学と同様に英語で学ぶことができます。

修業年限・学期

学士号: 3年（一部専攻5～6年）、修士号: 2年、博士号: 3年、専門学校: 1～3年
学年: 9月～10月開始、翌年6月まで

入学条件・出願・選考

学士: 高等学校卒業（12年の課程を修了）

修士: 学士号取得

博士: 修士号取得

出願:

1月～6月

高等教育機関によって行われる事前の入学選考審査（併願可能）

6月～7月 イタリア大学省の高等教育専用サイト

「www.universitaly.it」で入学申請（併願不可）

7月～8月 ビザ申請

留学にかかる費用の目安・滞在先

学費は各教育機関・専攻によって異なり、また世帯所得に準じて減額もあります。

国公立大学 学士1年間平均学費: 25万円

生活費は街の規模によって大きく変動しますが、主要都市では、1年間生活費（家賃込み）: 230万円

PICK UP!

奨学金制度:
イタリア政府奨学金 返済不要（授業料免除あり、規定月額: 900ユーロ）
エラスムス・プラス(Erasmus+) 欧州連合(EU) 教育助成プログラム



©università degli Studi di Genova

語学力の目安

英語で開講するコースについては、各教育機関が定めたTOEIC、TOEFL、IELTSなどの点数によります。
イタリア語で開講するコースについては、学士号: 中級B1レベル、修士号: 中上級B2レベル

お役立ちリンク

イタリア留学総合サイト



コース検索エンジン



入学申請



メキシコ

(情報提供：在日メキシコ大使館)

メキシコは北米に位置するラテンアメリカの国で、日本の約5倍の広大な面積、多様性、経済力を誇ります。約3,000年以上前の古代文明に起源を持つ豊かな歴史と文化を有し、近年は女性のエンパワメントやジェンダー政策の進展も注目されています。公用語は世界言語ランキング3位のスペイン語で、世界最大のスペイン語話者国(話者全体の約4人に1人がメキシコ人)として、毎年多くの日本人学生・社会人が留学に訪れます。人文学だけでなく、近年ではテクノロジー分野の高水準な研究が行われる高等教育機関も世界中の留学生を惹きつけています。



修業年限・学期

学士号：4年(医学部など一部の学部は5～6年)、修士号：2～3年、博士号：3年～(分野や機関による)
その他、日本の専門学校に類似する課程もあるが、留学生の受け入れは僅少。

通常、学期は8月に始まり翌7月上旬までが1学年(大学によって多少異なる)で、多くの教育機関がセメスター制を採用。

入学条件・出願・選考

留学先機関によって異なるため、その都度問合せが必要。

語学力の目安

講義は基本的にスペイン語で行われるため、学士課程以上に留学を希望の場合、高度なスペイン語能力が必要。大学によっては、付属の語学学校があるのでそちらも利用可能。

留学にかかる費用の目安・滞在先

学費は各大学、専攻、また国公立か私立かによって大きく異なるため、留学先機関の情報を参照のこと。1カ月の生活費は都市によって大きく異なるが、首都メキシコシティ中心地では月に1600米ドル程度。しかしながら、居住地区や都市によって大きく上下するため、事前に様々な情報を収集すること。

PICK UP!

大学生以上の日本人が利用可能なメキシコ国費奨学金：

- ①日本メキシコ戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画
1971年に創設され、これまで両国で5,000人超の研修生を派遣してきた国費留学制度。約1年間の2つの長期コースに大別される。
1) スペイン語・メキシコ文化コース(国立メキシコ自治大学付属の語学学校でスペイン語を習得)
2) 専門コース(国内70以上の高等教育機関で専門科目を受講)
- ②外国人のためのメキシコ政府奨学金
メキシコで専門課程、修士課程、博士課程を修めたい、また博士研究者の外国人対象

お役立ちリンク

日墨戦略的
グローバル・
パートナーシップ
研修計画



外国人のための
メキシコ政府
奨学金



ニュージーランド

(情報提供：ニュージーランド大使館 エデュケーション・ニュージーランド)

自然豊かなニュージーランドは、国内8校の総合大学が全て国立で、QS世界大学ランキング上位2%にランクイン。世界1位と評価された「学生の未来を見据えた教育」と世界トップの安全な学習環境を求めて世界から留学生が集まっている。平等と多文化共生を重視し、女性の参政権を世界で初めて認めた国としても有名。サステナビリティ分野における先進国として産官学が連携し、高等教育では学問としてこの分野を本格的に勉強・研究することができる。ニュージーランドの高等教育機関は①国立総合大学②国立工科大学③私立高等教育機関の主に3種類。それぞれ政府団体によって厳しく品質監査がなされている。



修業年限・学期

ニュージーランドの学士課程は通常3年制で、専攻によっては4～6年必要な場合も。ダブルディグリー制度で同時に2つの学士を取得可能。8校の総合大学では全て大学院課程を開講し、ポストグラデュエート・ディプロマ(1年)、修士号(2年)、博士号(3年)が取得可能。全国16校の国立工科大学(New Zealand Institute of Skills and Technology)では、基礎教育から大学院教育まで学術および職業訓練の両方のプログラムを提供。

新学期は2月下旬から始まり、11月が学年末。

入学条件・出願・選考

ニュージーランドの学士課程は高校課程修了、大学院課程は学士号取得が条件。出願時期は大学により異なるが、多くは3カ月前に締切。必要書類は入学願書、成績証明書、卒業証明書、IELTSスコア等で、全てオンライン上で手続き可能。詳細は留学希望先のウェブサイトを確認。国立総合大学や工科大学では、1年または1学期の「Study Abroad」プログラムも提供している。

語学力の目安

学士：IELTS Band 6.0以上、TOEFL iBT 80点以上もしくはそれ相当
大学院：IELTS Band 6.5以上、TOEFL iBT 90～100点以上もしくはそれ相当

留学にかかる費用の目安・滞在先

費用の目安(年間)

学士課程学費：NZ\$30,000～NZ\$45,000

修士課程学費：NZ\$35,000～NZ\$53,000

教育機関や専攻分野により異なるため、詳細は留学希望先のウェブサイトを確認。

生活費：NZ\$20,000～NZ\$30,000(食費、交通費、住居費、娯楽費などを含む目安)

滞在はホームステイ、学生寮、アパートシェア、ハウスシェアなど。

PICK UP!

ニュージーランドでは、教育水準を常に高く維持するため、教育機関や資格の審査、認証、登録をニュージーランド資格庁(NZQA: New Zealand Qualifications Authority)が厳格に管理しています。また、留学生が安心して生活できるよう、国は「留学生の生活保障に関する服務規程」を定めています。この規程への登録と遵守は、留学生を受け入れるすべての教育機関に義務付けられています。さらに、ホームステイの手配や学生サポートを含む留学生の福利厚生についても、詳細な規定が設けられています。

お役立ちリンク

エデュケーション
ニュージーランド
公式ウェブサイト
Study with New Zealand



ニュージーランド
生活情報サイト
NauMaiNZ



ポーランド共和国

(情報提供：駐日ポーランド共和国大使館)

ポーランドは豊かな文化と歴史、そして息をのむような自然に恵まれた国です。ヨーロッパの中心に位置し、EU加盟国の中で最も成長が著しい経済と高水準の教育を誇るポーランドは、学びやキャリアをスタートさせるのに理想的な場所です。ポーランドの大学教育の伝統はすでに650年以上の歴史を持ち、1364年にカジミェシュ大王が創設したクラクフ・アカデミー（現在のヤゲロン大学）にまで遡ります。現在、400以上の高等教育機関に約150万人の学生が在籍しており、そのうち5万7千人以上は留学生です。

修業年限・学期

学士課程：3年間、修士課程：2年間、統一修士課程（医療、法学、心理学分野）：5年または6年間、第三段階課程（博士課程）：3～4年間

入学条件・出願・選考

学士課程および統一修士課程への出願資格は、高校卒業試験（matura）または同等の修了試験の結果に基づきます（matura証明書、またはそれと同等の、出身国で高等教育機関への入学資格を証明する書類が必要です）。修士課程への出願には、修士号、学士号、またはそれと同等の資格を有していること、ならびに大学が定める条件を満たしていることが求められます。ポーランド国内の360以上の大学で実施される2025/2026年度の入学手続きは、2024年3月1日から2024年10月31日までオンラインで行われます。英語で授業が行われる学科についての情報は、以下のウェブサイトを確認できます。https://study.gov.pl/

留学にかかる費用の目安・滞在先

公立大学で授業料を支払う形で学ぶ留学生、または外国語で実施されるプログラムを履修する留学生は、以下の通り授業料を納める必要があります。年間の平均費用は以下の通りです：

学士課程、修士課程、または統一修士課程：2,000ユーロ

博士課程、大学院課程、医療系の卒後インターンシップ、研究・芸術分野のインターンシップ、専門訓練、ハビリテーションインターンシップ：3,000ユーロ

補習コースおよび学生向け職業実習：3,000ユーロ

語学コース（ポーランド語での学習準備コースを含む）：2,000ユーロ

他の欧州諸国と比べ、比較的生活費や学費が安い国です。都市によって異なりますが、学生の平均的な生活費は月額350～550ユーロです。

PICK UP!

日本国籍を有する方は、ポーランド政府の奨学金を受けて、学士課程または修士課程で1年または2年間の留学をすることが可能です。奨学金受給者は授業料が免除され、さらに毎月の奨学金を受け取ることができます。奨学金の応募手続きは、駐日ポーランド共和国大使館を通じて行われます。募集に関する情報は、大使館のウェブサイト(https://www.gov.pl/web/nippon)に掲載されます。

お役立ちリンク

NAWA(Polish National Agency for Academic Exchange)

X

駐日ポーランド共和国大使館



大韓民国

(情報提供：東京韓国教育院)

韓国は三面が海で囲まれていて四季の区別がはっきりしている気候の国です。悠久の歴史があり、古くから多様な文化が発達しています。最近ではKカルチャーと言われる様々な分野の文化が世界に広がっています。K-POPと映画のほか、キムチ、ビビンバ、ブルゴギなどの韓国の伝統的な食べ物も世界から人気を集めています。

韓国の学校では比較的低コストで勉強ができ、奨学金制度も多くあります。教育の内容は世界的レベルで、学習到達度と教育競争力は世界最高水準と認められています。医療も充実していて、治安的な面でもとても安全な国です。

修業年限・学期

◎大学：2年～6年（専門大学・特性化大学・ポリテク大学2～3年、一般大学4年、医学部6年）

◎大学院：2年～5年（修士号2～3年、博士号3年）

◎通常3月から翌年2月までが1学年（2学期制）— 9月からの入学も可能

入学条件・出願・選考

出願資格

- ◎専門学士、学士：初等中等教育課程をすべて履修したもの（12年課程）
- ◎修士：学士号所持者
- ◎博士：修士号所持者

出願時期

大学ごとに異なるので大学に確認が必要（ホームページ等）

◎春学期（3月）入学：前年度の9～11月

◎秋学期（9月）入学：当該年度4～6月

ビザ申請と取得の手続き：留学ビザ（D-2）

◎在留期間：2年（以後更新必要）

◎共通書類：申請書、パスポートの写し、写真1枚、教育機関の事業者登録証の写し、標準入学許可書（大学発行）

留学にかかる費用の目安・滞在先

学費(1学期当たり) 大学および学部ごとに違うので確認が必要（下記は目安）

◎専門学士：300万～400万ウォン ◎学士：500万～700万ウォン ◎修士：600万～800万ウォン

◎博士：700万～900万ウォン

生活費(1か月あたり)

◎住居費：50万ウォン～70万ウォン ◎食費：20万ウォン～30万ウォン ◎交通費：5万ウォン～10万ウォン

◎その他の費用：10万ウォン～20万ウォン（携帯電話、インターネット、医療保険等）

PICK UP!

奨学金（国家奨学金）

政府招待外国人奨学生、優秀交換学生支援、海外の優秀芸術人材奨学生、KFポスドク研究フェローシップ、KF大学院生奨学支援、KF韓国語フェローシップ、KF訪韓研究フェローシップ（他にも各大学の奨学金、各財団の奨学金などがあります。）

資料ダウンロード先：

https://www.studyinkorea.go.kr/ko/guidebookShow.do



語学力の目安

大学入学：TOPIK3級以上
大学卒業：TOPIK4級以上
-2025年韓国語能力試験（TOPIK）：4月、7月、10月、11月の4回実施予定
-英語で授業が行われる場合は公認英語成績が必要（TOEFL等）

お役立ちリンク

Study in Korea
(留学生支援機構)

国立国際教育院
(GKS奨学金)



スウェーデン

(情報提供：スウェーデン大使館)

美しい自然と緑豊かな都市、フィカ文化があり、世界で最も民主的な国の一つであるスウェーデン。視野を広げて新しい生活に勤めたいと考えている学生の皆様に提供できるスウェーデンならではのコースがたくさんあります。

スウェーデンの多くの大学は、常に世界の大学ランキングの上位に入っています。大学は39校あり、英語で行われるコースは1,000以上あるので、きっとお探しのコースが見つかることでしょう。



©Magnus Liam Karlsson/imagebank.sweden.se

修業年限・学期

学士号：3年、修士号：1年～2年、博士号：4年。職業訓練学校：1年～2年 国民高等学校：1年～3年。学期は2期、秋学期と春学期があり、ほとんどは9月から始まりますが、1月から始まるものも一部あります。

入学条件・出願・選考

入学前提条件は各大学・専攻によって異なるので、<https://studyinsweden.se/>をご参照下さい。学士課程は8つ、修士課程は4つまで申し込むことができます。基本的には入学試験はなく内申のみですが、学科によっては入学試験があるので、ご確認下さい。こちらから出願から入学までの流れをお読みいただけます。
<https://www.universityadmissions.se/en/key-dates-and-deadlines/autumn-semester-dates/>

語学力の目安

英語の前提条件も各大学・専攻によって異なるのでご確認下さい。平均的な前提条件はEnglish 6ですが、IELTS 6.5 (TOEFL90)となります。詳細はこちらをご参照下さい。
<https://www.universityadmissions.se/en/entry-requirements/english-language-requirements/>

留学にかかる費用の目安・滞在先

学費は各大学・専攻により異なるので、各大学のホームページをご覧ください。直接希望する学科にお問い合わせ下さい。学費の平均は1年170万円となっています。住居費は首都と大都市に住むか、地方に住むか、また、寮、アパート、ルームシェアなど、こういった形態で住むかによって異なります。平均は8万円～15万円。生活費もこういった生活をするかにもよりますが、平均的は10万円～12万円。ストックホルムやその他の総合大学がある都市では住居を見つけるのがかなり困難になっています。またスウェーデンではホームステイ先を見つけるのも難しいです。

お役立ちリンク

Study in Sweden HP



Study in Sweden YouTube



スウェーデン大使館



スイス連邦

(情報提供：在大阪スイス領事館)

スイスは、26州からなる連邦国家で、4つの公用語を持つ多言語国家です。世界トップクラスの教育水準を誇り、特に理工系分野で高い評価を受けています。公立大学12校が世界ランキング上位に名を連ね、最先端の研究設備と優秀な教授陣により、質の高い教育を提供しています。留学生にとっては、国際的な環境で専門知識を学ぶことが大きな魅力となります。また、永世中立国であることも有名です。国際連合をはじめとした複数の国際機関の本部があるため、将来そのような機関で働きたい学生にも人気の留学先です。豊かな自然と高い生活水準、治安の良さも特徴で、教育を通じて人生の豊かさを感じられる国です。



修業年限・学期

スイスでは学部はフランス語とドイツ語で教えられることが多いので、日本からの留学生の大半は全て英語でカリキュラムが組まれている修士課程から留学します。その場合、9月入学になります。

入学条件・出願・選考

スイスの大学に日本から入学する場合、通常、日本の高校卒業と大学入学資格が必要です。出願には、高校の卒業証明書と成績証明書、語学力証明書が求められます。(言語に関しては出願したい大学、学部が修士かによっても変わります。) 出願はオンラインで行われ、各大学のウェブサイトから専用フォームを通じて必要書類をアップロードします。選考は書類審査が中心ですが、一部の大学では面接や入学試験を課す場合もあります。

語学力の目安

言語はCEFR B2～C1レベルが求められます。多言語国家であるため、出願したい大学、学部が修士かによっても変わります。

留学にかかる費用の目安・滞在先

スイス留学の費用は、学費と生活費を合わせて年間約214～327万円程度が目安です。公立大学の学費は非常に安く年間約20万円ほどに収まりますが、生活費は月に16～18万円程度がかかります。住居は学生寮、シェアハウス、アパートなどがあり、月額6～8万円程度です。多くの留学生は大学提携の学生寮やシェアハウスを利用しています。寮には家具付きの物件も多くあります。単身者向けのアパートは月10万円以上かかることもあるので、学生寮やシェアハウスを活用する人がほとんどです。

PICK UP!

スイス留学の準備には、まず滞在許可証の手続きが必要です。3ヶ月以上の滞在では、各州が発行する許可証を取得します。これには2～3ヶ月かかるため、早めに着手しましょう。奨学金は、スイス政府奨学金などがあります。大学への出願では、証明写真、パスポートコピー、成績証明書、カバーレター、語学試験の成績表が必要です。スイス政府奨学金について(英語)
<https://www.sbf.admin.ch/sbf/en/home/education/scholarships-and-grants/swiss-government-excellence-scholarships.html>

お役立ちリンク

Swiss universities



Swiss info.ch



台湾

(情報提供：台北駐日経済文化代表処)

友好的、安全、現代的、便利、ダイナミックな国で留学してみませんか。台湾は外国人留学生を受け入れる環境が整っており、多様な学習の機会を提供しています。外国人枠を活用すれば比較的有利に入学出来ます。

他国と比較して格安な学費と生活費で留学でき、台湾奨学金や華語文奨学金など給付型奨学金制度を利用すれば、経済的負担が軽減できます。また、高度な医療制度が整っているため、安心して暮らせる国です。

留学生が入学可能な高等教育機関としては大学、大学院、科技大学等があり、国立、公立、私立に大別されます。

修業年限・学期

学士号：4年（一部専攻6年）

修士号：2～3年

博士号：3年

通常8月、9月に新年度が始まり、翌年の8月に学期が終わります。ほとんどの学校が9月入学ですが、春入学の制度を持つ学校もあります。

入学条件・出願・選考

学士：学校教育12年の課程を修了

修士：大学卒業

博士：修士号を取得

大学等高等教育機関への出願は各教育機関にそれぞれ行います。出願日程、提出書類等、留学希望先のウェブサイトを確認ください。

語学力の目安

華語文：TOCFL(華語文能力測驗)
Level 2 基礎級 (A2)程度

全英語コース(大学):
TOEFL iBT 71-80、IELTS 5.5-6
大学院:
TOEFL iBT 75-80、IELTS 6以上

留学にかかる費用の目安・滞在先

学費は各大学専攻により異なるので、各大学の情報を参照のこと。以下は目安。

大学：3,000～3,600ドル/年間

大学院：3,200～4,000ドル/年間

食費：180～270ドル/月

学生寮：35～100ドル/月。家賃：200～600ドル/月。

お役立ちリンク

Study in Taiwan

台湾奨学金
華語文奨学金
募集情報

トルコ

(情報提供：トルコ共和国大使館)

トルコではボローニャプロセスが完全に運用されており、トルコの大学で得たディプロマは全てのヨーロッパの国で認められています。現在トルコでは2万5千人の奨学生を含む15万人の外国人学生が学んでおり、その数は世界でも上位です。短期大学士、学士、修士、博士課程を修了することができます。

修業年限・学期

学士：4年（歯学部、獣医学部、薬学部は5年、医学部は6年）

修士：論文を提出する場合は2年、論文のないコースは1年～1年半

博士：平均4年

9月入学、6月修了。セメスター制。学期途中の編入は極めて稀。

入学条件・出願・選考

学士：12年の初等・中等教育を修了

修士：大学卒業、16年の課程を修了

博士：修士号を取得

トルコ海外学生試験（YOS）という共通試験があります。YOSはトルコ語、ドイツ語、アラビア語、フランス語、英語、ロシア語の6か国語で受験可能です。

国立大学への入学ではYOSの試験結果もしくは高等教育機関が認めるIB、Abitur、GCE、ALなどの成績を提出することができます。私立大学への入学については、YOSの結果提出が求められます。

語学力の目安

トルコの大学の多くでは授業言語はトルコ語ですが、一部英語や他の言語を使用するプログラムもあります。一律で求められる語学力はありませんが、各大学の情報を参照ください。

留学にかかる費用の目安・滞在先

学費は、国立・私立によって異なり、また専攻によっても変わります。正確な費用については、各大学が発信している情報を参照してください。

1か月の生活費は個人の生活により異なりますが、他の国と比べるとトルコは物価が比較的安価です。賃料、飲食費、娯楽の出費は予算に合わせて調整可能です。トルコ政府が提供するTurkiye奨学金、優秀学生奨学金、研究奨学金、KATIPプログラムなど様々な奨学金制度があります。

PICK UP!

奨学金の中で最も包括的なものはTurkiye奨学金です。2025年の申請受付期間は1月10日～20日です。対象は短期大学士～博士課程です。Turkiye奨学金には月額制の支給、学費、健康保険、寮費、賃料、無料の職業・研究制度、航空券費用などの項目があり、世界でも最も包括的な奨学金制度です。

お役立ちリンク

Study in Türkiye



Turkiye 奨学金



英国

(情報提供：ブリティッシュ・カウンシル)

伝統と最新カルチャーが共存する国として、また質の高い教育を提供していることで知られている英国。多様なバックグラウンドを持つ留学生を温かく迎え入れる寛容な文化があり、犯罪率も非常に低く治安がよい国とされています。政府や教育団体が定めた厳しい基準を満たした英国の教育機関は、学生が知識や技術を習得し、自由な発想を持って最大限の能力を発揮できるようサポートしています。

修業年限・学期

多くの大学では一般教養課程がなく、1年目から専門課程がスタートする3年制(スコットランドは4年制)。ただし、医学や獣医学、建築学など専門の資格に直接結びつくコースでは修了するまでに5~7年が必要。MBAを含め、修士号は多くの場合1年で取得できます。9~10月スタートの3学期制が一般的。ファーザー・アンド・ハイアー・エデュケーション・カレッジとよばれる教育機関では、ビジネス、工芸、アート、デザイン、コンピュータなどの分野で実践的な教育を行っています。通常は1~2年間で修了し、ディプロマ(准学士)やサートIFICATE(学位を伴わない課程の修了)などの資格を取得でき、大学への編入が可能なコースもあります。

入学条件・出願・選考

英国の教育制度では、16歳から18歳までの教育課程でGCE-Aレベルと呼ばれる大学入学資格試験に向けた学習を行い、その成績等で進学できる大学やコースが決定します。GCE-Aレベルを取得していない外国人が英国の大学学部に進学する場合、国際バカロレア、SAT等の資格が受け入れられているのが一般的。そうした資格を取得していない場合、日本の高校卒業資格は英国の大学に進学する資格として認められていないため、学部に進学する前に、約9か月の大学進学準備コース(ファウンデーションコース)で学びます。大学進学準備コースで所定の成績を取れば、その大学や提携先の大学に進学できます。大学院入学にあたっては、学部プログラム(日本の大学での学士号取得相当)修了が必要になります。英国の学部コースへの出願のほとんどはThe Universities and Colleges Admission Service (UCAS) (www.ucas.com) を通じて行われ、出願した大学からのオファーもUCASより返信がきます。大学院コースについては直接大学院へ、語学試験スコア、卒業証明、パーソナルステートメントなどとともに出願します。出願日程、提出書類等、各留学希望先のウェブサイト等で確認してください。

留学にかかる費用の目安・滞在先

学費(各教育機関・専攻により異なるので、各教育機関の情報を参照してください。)

大学(学部)留学 £11,400~£38,000/年
大学院(修士)留学 £9,000~£30,000/年
生活費(単身者で宿泊費、公共料金、食費、電話代等の生活費)

ロンドン £1,300~£1400/月
ロンドン以外の地域 £900~£1,300/月

滞在施設

ほとんどの大学やカレッジにはアコモデーション・オフィス(住居・滞在施設に関する事務を扱うオフィス)がありますので、まず問い合わせてください。通常、各機関では、留学生向けとして、寮(食事つき、あるいは自炊)や、シェアハウス、フラットシェア(いずれも自炊)といった施設を持っています。



語学力の目安

IELTS(アイエルツ) 6.0
~6.5

お役立ちリンク

ブリティッシュ・
カウンシル
「英国留学」
(日本語)



ブリティッシュ・
カウンシル
「Study UK」
(英語)



UCAS-The
Universities
and Colleges
Admission
Service (英語)



米国

(情報提供：EducationUSA)

アメリカの高等教育機関はとても柔軟です。大学入学後に専攻を変えたり、ダブルメジャー(2分野専攻)やマイナー(副専攻)を加えたりする人もいます。約4,000の大学があり、総合大学、専門大学、リベラルアーツ大学など、自分にあった大学で勉強することができます。2年制州立大学(コミュニティカレッジ)から4年制大学への編入は、盛んに行われていて費用の面からも人気があります。大学によっては、留学生に奨学金を出しているところもあります。情報収集は時間がかかるプロセスですので、早めに大学の公式サイトをチェックしましょう。

修業年限・学期

学士号：約4年、修士号：約1年半~2年、博士号：約5~8年。

求められる単位を修めると(博士課程は最終審査を通ると)卒業となりますが、必要単位数は、大学や専攻により異なります。通常は9月から5月(秋学期)、1月から5月(春学期)ですが、多くの大学では春学期から開始も可能です。4学期制や3学期制の大学もあります。

入学条件・出願・選考

学士：高校を卒業または卒業見込み

修士：学部課程を卒業または卒業見込み

博士：学部課程を卒業または卒業見込み(修士号が必要かは出願先による)

応募条件、出願書類、締切日などの詳細は、各大学や専攻で異なるため、出願先の公式サイトでご確認ください。出願締切は、早いところで10月ですが、多くは12月から翌年1月(秋学期開始の場合)です。大学院は、出願の際に就労経験を求められる場合もあります。

留学にかかる費用の目安・滞在先

大学やプログラムにより、費用は異なりますが、以下は大体の平均です。各大学やプログラムの公式サイトで、最新情報をご確認ください。

公立2年制大学:\$9,690(授業料)+\$17,580(住居・食費など)

公立4年制大学:\$29,150(授業料)+\$17,580(住居・食費など)

私立4年制大学:\$41,540(授業料)+\$18,880(住居・食費など)

住居は、大学の寮やアパートが一般的ですが、ホームステイを紹介してくれるところもあります。大学により、奨学金を提供している場合もあり、機会を逃さないために、早めに大学の公式サイトで情報収集することをお勧めします。

お役立ちリンク

EducationUSA
ウェブサイト



奨学金の探し方



留学説明会(録画)
YouTube



Instagram
@edusajapan



X
@EdUSAJapan

